



〒792-0821 新居浜市瀬戸町 7-30  
 TEL : 0897-41-5859 (Fax 兼用)  
 E-mail : seto@city.niihama.lg.jp



## 8月の予定

★回転木馬 夏休みのためお休み	★ゆめじゆく編集委員会	月
★移動図書館青い鳥号	4日(月) 13時30分~	日
19日(火) 15時10分~15時50分	★ゆめ喫茶	曜
★人権・同和教育関係行事	8日(金) 10時00分~11時00分	日
5日(火) フォローアップ教職員人権	★人権のつどい日	曜
・同和教育研修会(瀬戸会館)	11日(月) 10時00分~11時30分	日
7日(木) 新居浜市中学校社会科夏季研修会(文セン)		曜
28日(木) 隣保館長等研修会(松前町)		日
29日(金) 隣保館職員実務担当者研修会(松前町)		曜

## 愛媛県隣保館職員・所管課職員 新任者研修会より



5月28日四国中央市「しこちゅ〜ホール」で愛媛県隣保館職員・所管課職員新任者研修会が開催されました。研修会の中で、「江口いとさん」が書いた「人の値うち」という詩が紹介されました。江口いとさんは、被差別部落出身という理由で、息子、孫三代にわたって差別を受けました。詩には偏見や差別のない社会を願う思いが込められています。感銘を受けた詩の一節を紹介します。

研修会でこの詩を知ったことで、部落差別に限らず、現代社会にある様々な差別問題を知る事や、差別のない社会をめざし努力や活動する事が大切だと思いました。この詩に込められた思いをしっかりと受けとめ、研修で学んだことに取り組んでいきたいと考えています。

何時かもんぺをはいて  
 バスに乗ったら  
 隣座席の人は私を  
 おばはんと呼んだ  
 戦時中よくはいたこの活動的なものを  
 どうやらこの人は年寄りの  
 着物と思っているらしい  
 よそ行きの着物に羽織を着て  
 汽車に乗ったら  
 人は私を奥さんと呼んだ  
 どうやら人の値うちは  
 着物で決まるらしい  
 講演がある  
 何々大学の先生だと言えば  
 内容が悪くとも  
 人は耳をすませて聴き  
 良かったと言う  
 どうやら人の値うちは  
 肩書で決まるらしい  
 名も無い人の講演には  
 人々はそわそわとして帰りを急ぐ  
 どうやら人の値うちは  
 学歴で決まるらしい  
 人びとはいつの日  
 このあやまちに気づくであろうか

江口いと人権の詩『人の値うち』の一節より

## 地域の話

愛媛県人権対策協議会新居浜支部青年部は、6月に北海道に行き、「ウポポイ(民族共生象徴空間)」の中にある国立アイヌ民族博物館での研修を実施しました。

アイヌの人々の歴史や文化を学んでみると、衝撃を受けました。それは、日本人(和人)がアイヌの人々に対して行ってきた迫害の数々の歴史的事実と現在もお続く差別や偏見、ヘイト攻撃の実態です。

明治政府はアイヌの人々に対して、①アイヌの土地の没収、②生活の糧である漁業・狩猟の禁止、③アイヌ固有の習慣風習の禁止、④日本語の使用義務(アイヌ語の使用禁止)、⑤日本風氏名への改名による戸籍への編入、などの同化政策を実施しました。こうした和人(アイヌ以外の大和民族)社会への同化政策の結果、アイヌの人々に対する差別と迫害が続き、アイヌの人々は貧窮を余儀なくされました。

和人に同化することが幸せなことだと言われ、土地も文化も言語も奪われ、アイヌの人々は端に追いやられました。残ったのは無知で野蛮な民族という差別だけです。このような状況を見て、「アイヌってかわいそう」とよく言われるそうです。

アイヌの人々にとっては、同情する前に、アイヌの置かれている「真実を知って欲しい」と願っているのではないのでしょうか。研修を通じて学んだことは、「真実を知る」方法の一番は、やはり現地へ赴き、その実態を知ることです。そして、知った「真実の情報」を家庭や職場等で共有し、その「真実を広める」ことが「誤った理解・認識」をなくすことにつながると感じました。



国立アイヌ民族博物館(ウポポイ)にて



## ひばりの引っ越し



「ひばりの引っ越し」というイソップ童話をご存じでしょうか?

春先になって、ひばりが麦畑に巣をつくりました。初夏のある日のこと、大勢の村人たちが麦畑にやってきて、「そろそろ、みんなで麦を刈らなきゃいかなあ」と話していました。これを耳にしたひばりの子どもが「お母さん、麦刈りが始まるから、引っ越しをしようよ」と言いました。しかし、ひばりのお母さんは「まだ、大丈夫よ」と答えて平然としていました。

数日たってから、3人の村人が麦畑にやってきて、「ぼちぼち、麦を刈らなきゃいかなあ」と話していました。これを耳にしたひばりの子どもは「お母さん、もうダメだよ!麦刈りが始まってしまふよ」と叫びました。しかし、ひばりのお母さんは「まだ、大丈夫よ」と、とり合いませんでした。

さらに数日後、今度は村人が1人だけでやってきて「じゃあ、ぼちぼちやるか」とつぶやきました。そこではじめて、ひばりのお母さんは子どもに言いました。「さあ、逃げましょう」

この寓話の教訓は何でしょうか?

人間は、「みんなでやろう」と言っているうちは誰もやりません。数人で「やろう」と言っても誰もやりません。人が増えると「無意識のうちにおろそかにしてしまう」というのが我々の性質です。モノごとは、「誰か一人の行動」から始まります。また、その意思が見られた時に「物事が動き出す」ということをこの寓話は教えてくれています。

同様に、「みんなで差別をなくしましょう」と言っているうちは、差別はなくなりません。標語ひとつで、「人の行動」は創り出されません。誰かが解決してくれるのではなく、「一人の行動」から始まります。「お互いを尊重し合い、大切にすること。それを、すべての人が本気で実行するためには、いったい自分はどうすればいいのだろう……」。差別や偏見をなくすることも、一人ひとりが、自分の心にこのような問いかけをした瞬間から始まるのではないのでしょうか。

# 7月 人権のつどい日 反骨の棋士 阪田三吉 ~その栄光と苦難の道~



瀬戸会館 小西 裕久

坂田三吉といえば、村田英雄が『吹けば飛ぶような将棋の駒にー♪』と浪花節調で歌う「王将」があまりに有名です。村田版「王将」は、新国劇の「王将」という芝居をもとにつくられました。新国劇「王将」は、北條秀司の演出によって1947年6月に初上演され、主演は新国劇の名優、辰巳柳太郎がつとめました。以後、舞台に映画に歌にと、「王将もの」は大の人気演目となりました。三吉は、大阪は通天閣界隈の貧しい長屋暮らしから、日本で一、二を争う棋士へと登りつめた男。無学で字もろくに読めず書けず、妻も子もほったらかし、すべてを将棋に捧げた男、坂田三吉。そして、そのド根性人生。彼にまつわる一般的なイメージとは、おおよそこのようなものでしょう。しかし、どうもそのイメージ、実際とはずいぶん異なるようです。

ある時、土田香乎の脚本・作詞「涙の王将」と題された新作河内音頭の存在を知りました。この「涙の王将」の中で、三吉は現代将棋に戸惑い、自己の出発点を見つめ直すために故郷に帰る一節があります。老齢をむかえた三吉は、故郷（自己の出発点）で最後の気力を奮い立たせるのです。一人の旧友がこの時、三吉に次のような言葉を贈ります。「生まれ在所を負い目と思たらあかんのや。あんまりつろうて、親を恨み世間を恨み、ええい!どないでもなれ!と思うことはあっても、我が心にうち勝って、それをテコにして、強うならなあかんのや。俺かて今は部落のためにがんばっている。お前もちっちゃい奴らの為にがんばったってくれ!たのむ!」

天才棋士とうたわれ、明治期から昭和初期にかけて大きな足跡を遺したこの人物の生まれは、被差別部落です。「涙の王将」は、このような実際の坂田三吉の心のうちに潜む苦悩をすくい上げ、苦境に立たされた勝負師の心の揺れをじっくりと描いています。

それに対して、負の像「無学でバカ」と光「将棋の天才」のギャップを徹底させた北條戯曲の典型である「王将」に描かれた坂田像の方は、やりたい放題、書きたい放題です。北條版「王将」が深刻な問題を含んでいるのは、これが実録ものとして書かれていることです。一応は史実に沿いながらも、史実とはまったく異なった方向へ線路は敷かれています。北條版「王将」では、坂田を被差別部落出身とは一言も書いていませんし、言ってもいませんが……。被差別部落の人たちは、無学で粗野である。このような事実無根の偏見にもとづき、被差別部落出身の坂田は無学で教養がない、“変わり者”で“アホだ”という歪められた思い込みで、北條版「王将」は描かれています。

後に、「王将」の原作者、北條秀司は、「坂田先生の御生涯はずいぶん複雑な、波乱に富まれた御生涯でした。しかしそれがそのまま芝居になると云うわけには行きませんでした。どうしても手を替え品を替えて、面白くしなければなりません。そしてそれをやったために、先生を知られる皆さんからずいぶん叱られました。……わたしは先生及び先生の周囲に対して、随分あることないことを拵えたり、歪めたりしました。……先生、本当に長い間御迷惑でした。では、どうか安らかにお眠りください。そちらに行ったら色々お詫び致します。」と述べています。

戸籍では阪田三吉。彼は、貧しい中ですべてを将棋に捧げただけの人物ではありません。被差別部落出身として差別され、二重三重の苦しみと闘い続けました。その差別と貧しさへの怒りが、彼の将棋に賭ける執念の根底に流れているのです。それは、差別からの解放への執念でもあります。これを知らなければ本当の阪田三吉ではなくなります。粗野で無学だけど将棋の天才としてのみ、彼を見るならばそれは偏見だ、と言うべきではないでしょうか。阪田が生涯精魂込めて闘ったのは、対局者と、そして偏見、差別です。彼は、最後まで彼なりの方法で不合理な差別と闘い続けました。私たちは、本当の阪田三吉を知らなければなりません。



## 瀬戸会館使用状況



※7月18日現在の予定を記載しております。

月	火	水	木	金	土	日
				1 健康体操 ピンポン フラダンス	2 スクエアダンス フラワーデザイン	3
4 楠木クラブ すみれ ピンポン べっぴんさん E Dance school fun	5 ハンドメイド えんとつ山 フラダンス レインボーB E Dance school	6 水美会 楠木クラブ 空手	7 どんぐり 紙バンド教室 レインボーA 書神会 エストレージャ よさこい	8 ゆめ喫茶 健康体操 ピンポン フラダンス	9 篆刻教室 ポーセラーツ スクエアダンス	10 
11 人権のつどい日 	12 ハンドメイド つまみ細工 詩吟 えんとつ山 フラダンス レインボーB 書神会 E Dance school	13 水美会 ポーセラーツ 楠木クラブ 空手	14 どんぐり オカリナ小組 エストレージャ	15 	16 	17
18 楠木クラブ ピンポン べっぴんさん E Dance school fun	19 ハンドメイド 詩吟 えんとつ山 フラダンス レインボーB 書神会 E Dance school	20 水美会 楠木クラブ 空手	21 どんぐり 紙バンド教室 レインボーA エストレージャ	22 健康体操 ピンポン フラダンス	23 小学生料理教室 篆刻教室 スクエアダンス ポーセラーツ	24
25 楠木クラブ すみれ べっぴんさん ピンポン 書神会 E Dance school fun	26 若葉会 ハンドメイド つまみ細工 詩吟 レインボーB フラダンス E Dance school	27 水美会 楠木クラブ 空手	28 どんぐり 紙バンド教室 レインボーA エストレージャ	29 健康体操 ピンポン フラダンス	30 マクラメ教室 フラワーデザイン	31 赤色:午前 青色:午後 黒色:夜間 瀬戸会館 HP 

瀬戸会館では、人権、健康、福祉、生活等の各種相談を行っています。お気軽にご相談ください。